

(財)赤岩公德体財団便り

赤岩公德体財団理事長ご挨拶

日頃から(財)赤岩公德体財団の運営に多くのご支援を頂きまして、深く感謝いたします。

昨年に起きた東北大震災の復興もままならない中、尖閣諸島問題に端を発する中国との領土をめぐる確執や反日騒動に加え、貿易赤字にまで落ち込んだ日本の輸出の低迷、ギリシャについてスペインの財政破綻が懸念される欧州の経済危機、新興国の景気鈍化などの経済低迷に加え、解散をにらんだ与野党の攻防など、政治経済の状況は暗転の兆しか見えてこない様に思われます。

一方で、スポーツの世界は、ロンドンオリンピックが幕を閉じて、早2ヶ月が過ぎましたが、史上最多の38個のメダルを獲得するという快挙に連日、我々に感動と勇気、そして夢を与えてくれました。まさに「スポーツのちから」を実感した次第です。

種目の中でも、女子バレーボール、女子サッカー、男子体操、フェンシング、卓球などの団体戦での活躍は日本人に一体感と日本人としての誇りを与えてくれました。

個人競技においては、女子レスリングの伊調馨選手のオリンピック3連覇が特に感動的でした。ロンドン入りしてからひどい捻挫をしたにもかかわらず、それを動ずることなく受け入れて、その状態のなかで自分の持てる力を発揮し、見事に金メダルを手にした姿に、日本中の人が勇気づけられたことと思います。スポーツを真剣に取り組む人は身体のみならず、強靱な精神力も得ることができるといふ証明ではないでしょうか。

これからの日本は、国家・政治・経済のみならず、日本人として心のあり方も、将来に渡って見直して方向を決めていかねばならないところに追い込まれている様に感じます。

中山教授がノーベル医学・生理学賞を受賞するという、嬉しいニュースも先週ありました。強靱な精神と立派な人格を持った青少年の育成を支援することで、微力ながら尽くしてまいりたいと存じます。



理事長：赤岩達重



今年(2012年度)の事業

1. スポーツ少年団への助成事業

助成対象
： 15団体

助成金額
： 1団体あたり
10万円以内



2. 第5回記念講演会

日程：2013年2月24日(日)

講師：舞の海秀平先生
(現NHK大相撲解説者)

演題：「可能性への挑戦」(予定)
～決してあきらめない～

※詳細は裏面をご覧ください。



前年(2011年度)の主な活動報告

2011年5月7日

第8回理事会・評議会開催

2011年5月28日

10団体に2011年度助成金授与

2011年11月25日

臨時理事会開催

2012年1月11日

臨時理事会開催

2012年2月26日

第9回理事会・評議会開催

第4回記念講演会 開催

講師：古賀 稔彦 先生 (元柔道オリンピックメダリスト)

演題：『夢への挑戦』



ホームページを
開設しました！

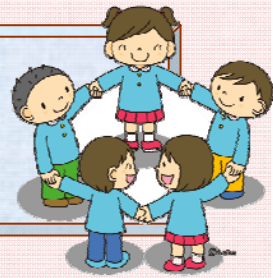


<http://www.mate.or.jp>

赤岩公德体財団が目指す人づくり

理 念

徳育・知育・体育の成長を図るため、スポーツ活動を通じて、世界に通用する豊かな人格の涵養と自ら学び、個性を伸ばし、心身ともにたくましく、社会の発展に寄与し、誇りを持てる青少年を育成する指導者を養成する。



自立する青少年

助け合う ・ 学び合う ・ 鍛え合う



知 育

自らの可能性を信じ、知識・技術の練磨に努め自分を高める努力を重ねる。

徳 育

個性を尊重して、社会的規範、感動する心、思いやりや感謝の心など豊かな人間性を身につける。



体 育

スポーツを通じて他者と協調し心身の健全な育成につとめ共に生きる。



5つの誓い

1. さわやかな挨拶をします
2. 思いやりと感謝の心を持ちます
3. 率先して、目標に向かって常に努力します
4. 自らの可能性を信じ、知識・技能の習得に努めます
5. スポーツを通じて、心身を鍛錬し自分自身を確立します



第五回 (財)赤岩公德体財団記念講演会

「可能性への挑戦」

～決してあきらめない～



講 師

舞の海秀平 先生

と き

2013年2月24(日) 13:00～14:30

場 所

学び館「サエスタ」

(住所:和気町父井原430 TEL:0869-88-9110)

入場
無料

プロフィール

生年月日 1968年2月17日 出身地 青森県西津軽郡鮎ヶ沢町 出身校 日本大学 経済学部

経 歴

1990年5月 出羽海部屋入門
1991年3月 新十両
1991年9月 新入幕
1999年11月 引退

角界最小の身体ながら、「猫だまし」「八艘飛び」などファンを驚かせる数々の技をくりだし「技のデパート」の異名をとった。得意技は左四つ・下手投げ。

戦 績

技能賞受賞 5回 最高位 / 小結

生涯戦歴

385勝418敗27休

幕内戦歴

241勝287敗12休

そ の 他

2003年 ベスト・ファーザー イエローリボン賞 受賞
2005年 ボジローワン騎士号 受賞
2005年 楽天イーグルス 名誉創立会員(会員No.9)
2000～2001年 帝京大学非常勤講師
2011年～ 近畿大学経営学部客員教授

舞の海



(財)赤岩公德体財団便りについて

発 行 者 : (財)赤岩公德体財団事務局
〒709-0514 岡山県和気郡和気町佐伯526-3
TEL/0869-88-0243 担当/井上・竹山

発 行 : 年2回

ご意見・ご感想等は
こちらまでお願い
致します。



講演会のご報告

「夢への挑戦」 講師：古賀稔彦先生

2012年2月26日(日)、サエスタにて第4回(財)赤岩公德体財団主催の講演会を開催しました。

講師にはバルセロナオリンピック金メダリストで、現在岡山市瀬戸町にあるIPU・環太平洋大学女子柔道部総監督の古賀稔彦さんをお迎えし「夢への挑戦」と題して、熱く語っていただきました。以下に講演の骨子をご紹介します。



[自分の夢を実現するための性格と考え方]

夢を実現するために必要な性格と考え方を漢字で表わすと「**欲**」と「**点**」になります。夢を実現するには「**欲**」を持っていることです。もっと強くなりたい、良くなりたいという「**欲**」の為に、何をどうすればいいかを考え、努力することで夢を実現するチャンスが広がります。

夢を実現する考え方には、自分の「**欠点**」を素直に認めることができます。一般に、人は自分の長所は認めても欠点を認めたがらないもので、それを認めることから始め、認めた欠点を1つ克服していきます。そうすると克服した欠点が、長所となって自分の長所が1つ増えることになり、2つ、3つと増やし続ける努力を継続している人は夢を実現していける人になると思います。



[柔道を始めたきっかけ]

小学校1年生のとき柔道を始めましたが、そのきっかけは遊び友達が柔道を始めたからというものでした。数ヶ月後には、試合に出るようになり、試合に勝てばうれしくももっと勝ちたいと思い、負ければ涙が出るほど悔しがっていました。父親から強くなるコツとして「ある選手より強くなりたかったら、その選手が寝ている間や遊んでいる間に練習すればいい」と教えてもらい、それ以来、父と兄とともに毎朝150段の階段を6〜7往復し、練習が休みのときには、鉄柱に巻きつけたゴムを使って300回、400回と打ち込みの反復練習をしました。この時、父が良き手本となって一緒にトレーニングをしてくれたことが、とても有難く、努力することの大切さを学びました。

[オリンピックへの挑戦]

二十歳のときに初めてオリンピックに挑戦し、優勝候補であった私の注目は非常に高かったのですが、結果は三回戦敗退。大きなショックを受け落ち込んでいた時に、自分が負けた試合のTV映像が流れ、その中で両親が観客席に向かって何度も何度も深く頭を下げている姿を目にしました。その姿を見て、戦っているのは自分一人ではない。応援してくれている人達、支えてくれる仲間に辛い思いをさせたくない。そして、次のバルセロナオリンピックでは、金メダルをとって恩返しをするのだという気持ちが高まりました。それ以降、周りの方達への感謝の気持ちを常に持ち試合に臨み、バルセロナでは試合前のケガというアクシデントはありましたが金メダルをとることが出来ました。



[現役引退、柔道教室を開設]

古賀塾五訓

- 一、「はい」という素直な心
- 一、「ありがとう」という感謝の心
- 一、「私がします」という奉仕の心
- 一、「すみません」という反省の心
- 一、「おかげさま」という謙虚な心

現役引退後は、自宅に柔道教室「古賀塾」を開設しました。ここでは、柔道はもちろん日常生活での当たり前のこと

を当たり前に行動に移すことを伝えています。

古賀塾には、柔道の創始者である嘉納治五郎先生の言葉「**精力善用**」「**自他共栄**」(自分のエネルギーを良い行いに使いなさい。そうすれば自分も他人もみんな栄える)と、**古賀塾五訓**という教えがあります。自分の夢を持つということ、夢に向かって努力することも当たり前のことです。当たり前のことができない者は、自分の夢を掴むことなど出来ません。皆さんもそれぞれの夢に向かってがんばってください。



全454席あるサエスタの座席は満席で
立ち見が出るほどの大盛況でした



サインを
いただきました



今年（2012年度）助成金 採択団体のご紹介

今年度より助成枠を15団体に拡大させていただきました。
今年度の助成団体を以下にご紹介致します。

バレーボール

本荘バレーボールスポーツ少年団〔和気町〕

11 名	28 試合 (6試合・22試合)
木・土	3 時間 98 %

今城バレーボールスポーツ少年団〔瀬戸内市〕

7 名	14 試合 (5試合・9試合)
水・土	3 時間 99 %

日生バレーボールスポーツ少年団〔備前市〕

16 名	約24 試合 (12試合・12試合)
水・木・土	2 時間 98 %

吉永バレーボールスポーツ少年団〔備前市〕

11 名	40 試合 (16試合・24試合)
火・木・土	3 時間 90 %

城南バレーボールスポーツ少年団〔赤磐市〕

7 名	100 試合 (70試合・30試合)
月・水・金	3 時間 100 %

ソフトボール

佐伯ソフトボールスポーツ少年団〔和気町〕

17名	83試合 (20試合・63試合)
火・木・土・日	3.5時間 100%

瀬戸内呂久ソフトボールスポーツ少年団〔瀬戸内市〕

22名	35試合 (5試合・30試合)
土・日・祝	3時間 90%

吉永ソフトボールスポーツ少年団〔備前市〕

29名	115試合 (23試合・92試合)
木・土	5時間 97%

行幸スポーツ少年団〔瀬戸内市〕

32名	40試合 (18試合・22試合)
土・日	3時間 90%

サッカー

ソレイユ吉永サッカースポーツ少年団〔備前市〕

21名	9試合 (3試合・6試合)
水・土	2～3時間 90%

< ご紹介内容 >

団 体 名 〔住所〕

児童数	年間試合数 (練習試合数・大会での試合数)
練習曜日	1回の練習時間 練習の参加率

トルフィンズスポーツ少年団〔備前市〕

11名	97試合 (24試合・73試合)
水・金・土・日	3～4時間 100%

山陽ラ・ベッシュスポーツ少年団〔岡山市〕

18名	62試合 (10試合・52試合)
土・日	3時間 90%

軟式野球

長船フレンス軟式野球スポーツ少年団〔瀬戸内市〕

21名	126試合 (57試合・69試合)
土・日	6時間 95%

伊里軟式野球スポーツ少年団〔備前市〕

20名	74試合 (54試合・20試合)
火・木・土・日	3時間 100%

瀬戸トリムス軟式野球スポーツ少年団〔岡山市〕

27名	40試合 (25試合・15試合)
土・日	4時間 100%

前年（2011年度）助成団体の活動報告

《2011年度の助成団体（全10団体）》

- 瀬戸内卓球スポーツ少年団
- 長船第一剣道スポーツ少年団
- ヤング山陽スポーツ少年団
- 芥子山ベアーズ軟式野球スポーツ少年団
- 牛窓シーファイターズ軟式野球スポーツ少年団
- 桜パワーズスポーツ少年団
- 片上バレーボールスポーツ少年団
- 岡山御津スポーツ少年団・ソフトボール部
- リーデル瀬戸内サッカースポーツ少年団
- 山陽ジュニアバレーボールスポーツ少年団

《2011年度活動評価・報告》

スポーツ以外で重視していることについての点数付けを10点満点で行っていただき、それを平均したものが右の表です。
申請時(2011年4月)、活動後(2012年3月)でそれぞれ評価していただいたところ、全項目での点数が上昇しており、特にくじけない心・社会貢献・自信の項目が特に大きく上昇していました。

《練習・試合以外の活動》

- 緑地清掃(奉仕活動)
- キャンプ
- ファミリー運動会
- 古希、還暦親善試合
- 夏祭り出展
- 卒団式
- もちつき
- マラソン大会



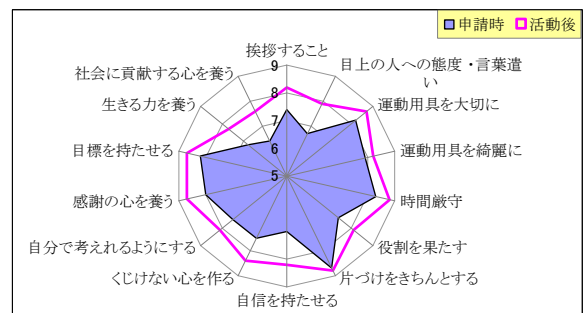
お礼のお手紙のご紹介

このたび、助成金を下さってありがとうございました。おかげでユニフォームを新しくすることができ、とてもうれしかったです。スポーツ少年団にはいってできるようになったことは①大きな声であいさつができるようになった②友達と協力することができるようになった③感謝の気持ちを持つことができるようになったです。今年から6年生になるので、チームをしっかりと

このたびは助成金をありがとうございました。僕のポジションはキャッチャーです。今までのキャッチャー道具はすごく薄くてワンバウンドを取りそこねてプロテクターでとめるととても痛かったのですが、助成金で買った新しいキャッチャー道具にすることで何回受け止めてもぜんぜん痛なくなったのでとてもうれしかったです。これからもチームみんなで一生懸命がんばり、残りの数試合一つでも勝てるようがんばりますので、応援を宜しくお願いします。

《練習・試合の状況》

- 平均練習日数 …… 2.5日/週
- 平均参加率 …… 92%
- 平均2010年度試合数 …… 64試合



助成金をありがとうございました。助成金で、テントやテーブルなどを購入させていただきました。ユニフォームの購入予定もあります。僕はサッカーの少年団に入団してからたくさんの人に支えられていると感じています。教えてくださるコーチ、送り迎えしてくれる両親、少年団のお母さん役員、そして財団からの助成金で必要なものを購入できるおかげで、サッカーをがんばることができています。僕は感謝の気持ちを忘れず、サッカーを続けていきたいです。